



関東支部 第128回(2012年度)研究大会・総会のご案内

大会テーマ **外国語学習の到達目標を考える**

—CEFR: Can do ステートメントの適用—

会員・関係者各位

昨年は、日本にとっても、そして日本の外国語教育にとっても、大きな節目となる年でした。

東日本大震災の爪痕は深く、未だ多くの方々がかつての日常を取り戻せずにいます。心から、お見舞い申し上げます。

小学校外国語活動の導入も、これとは全く違ったレベル、意味ではありますが、過去と未来に対し、私達に反省とビジョンを求めるものでした。しかし、日々の対応に忙しく、この1年にそれが十分にできたとは、言い難いものがあるように感じられます。そこで、今回の研究大会では「外国語学習の到達目標」について、つまり、外国語教育の原点の一つについて参加者の皆さんと一緒に 問題提起 → 講演 → パネルディスカッション を通じ、じっくりと考え、討議していきたいと思えます。

また、関東支部研究大会の恒例となったランチパーティーでは、賛助会員によるプレゼンテーションだけでなく、様々な方々との情報交換も行っていたきたいと思います。

皆様お誘い合わせのうえ、関東学院大学金沢八景キャンパスにお越しください。

2012年5月

外国語教育メディア学会

関東支部長 森田 彰

記

**主催** 外国語教育メディア学会(LET)関東支部  
**期日** 2012年6月9日(土曜日)  
**会場** 関東学院大学 金沢八景キャンパス  
(〒236-8501 横浜市金沢区六浦東 1-50-1)  
京浜急行「金沢八景」駅下車、徒歩10分  
京浜急行「金沢八景」駅東口より1番のりば  
「関東学院循環」で「関東学院大学」下車  
<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/>

※ 金沢文庫キャンパスとお間違えのないようご注意ください

外国語教育メディア学会(LET)関東支部事務局  
〒105-8461 東京都港区西新橋 3-25-8  
東京慈恵会医科大学 国領校教員控室内 小原 平  
電話&ファックス: 03-3436-9590  
E-mail: [kanto-office@j-let.org](mailto:kanto-office@j-let.org)

10:00 ~ 11:40

研究発表・実践報告

Foresight 21 5 階 F502

司 会 萱 忠 義 (学習院女子大学)

10:00 ~ 10:30 ① 研究発表

「合成音声と自然音声による音声モデルの違いが  
シャドーイング・パフォーマンスに与える影響」

山 内 豊 (東京国際大学)

峯 松 信 明 (東京大学)

加 藤 集 平 (東京大学)

川 村 明 美 (東京国際大学)

西 川 恵 (東海大学)

藤 田 雅 也 (HOYA サービス株式会社)

10:35 ~ 11:05 ② 研究発表

「直読直解支援システムを活用した多読の指導と  
その効果」

佐 藤 美 穂 (拓殖大学)

舟 生 日 出 男 (創価大学)

狩 野 紀 子 (拓殖大学)

11:10 ~ 11:40 ③ 実践報告

「TOEIC 問題を利用した音読練習のための  
e-learning 教材開発」

湯 舟 英 一 (東洋大学)

峯 慎 一 (明治大学)

11:45 ~ 13:00

ランチパーティー・賛助会員プレゼンテーション 2号館 教職員ホール

司 会 飛 田 ル ミ (足利工業大学)  
狩 野 紀 子 (拓殖大学)

本大会では閉会後の懇親会は開催せず、昼食の時間に、講演者や他の参加者との懇談の場としてランチパーティーを開催いたします。また、賛助会員の皆様に、展示商品についてご紹介戴きます。参加される方は、当日受付にて1,000円をお支払いください。昼食については、下記の【お願いとご案内】もご参照ください。

賛助会員展示

Foresight 21 5階 F504・廊下

5階 F504 と廊下では、ブースを設けて、賛助会員による展示を行っております。

13:05 ~ 13:35

総会・開会行事

Foresight 21 5階 F501

総合司会 奥 聡一郎(関東学院大学)

LET 関東支部長挨拶 森 田 彰 (早稲田大学)  
会 場 校 挨拶 田 中 史 生 (関東学院大学副学長)

参加者へのお願いとご案内

- 1) 参加費について  
＜会 員＞ 参加費は無料です。  
＜団体会員＞ 一団体につき1名が無料で参加できます。  
2人目からは1,000円をお支払いください。  
＜非 会 員＞ 1,000円(資料代)を受付で納入してください。学生も同額です。
- 2) 録音・録画についてはお断りしています。ご了承ください。
- 3) 駐車場はございませんので車でのご来場はご遠慮ください。
- 4) 昼食について  
大学付近は昼食を取れる場所がそれほど多くありません。校内では、学食(9号館)のご利用も可能ですが、昼食の時間に、講演者や他の参加者との懇談の場としてランチパーティーを開催いたします。閉会後の懇親会は行いませんので、ランチパーティーへのご参加もぜひご検討ください(参加される方は受付で1,000円をお支払いください)。

13:40 ~ 13:50

問題提起

Foresight 21 5階 F501

「CEFR の現場への適用についての問題提起」

ここ数年、『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』に関連した研究実践が活発になってきたが、当の欧州においても、現場での誤解や混乱がみられ、試行錯誤と改善のただ中にある。ここでは、理念から授業実践へとつなげる際の論点を整理したい。

跡 部 智 (慶應義塾普通部)

13:50 ~ 15:30

講演

Foresight 21 5階 F501

13:50 ~ 14:20

「Can do の背後にある概念」

Can do ステートメントは学習の結果できるようになることを記述したものであるが、CEFR はそれらのタスクの遂行に必要な知識や能力について、総合的に述べている。その背後には、自律的な学習、生涯学習、異文化間能力という基本概念がある。これらの概念を指導者が理解することが、Can do の有効活用の前提になることを述べたい。さらに、CEFR の理念を具現化するための道具である ELP(言語ポートフォリオ)の活用について、海外の事例を紹介し、日本の教育への示唆を考えたい。

講 師 高 田 智 子 (明海大学)

14:25 ~ 14:55

「Can do 評価取り入れの功罪: 自律学習と動機づけの視点から」

CEFR-J が正式に公開され、日本の文脈に合わせたフレームワークの普及に期待がかかる半面、フレームワークが独り歩きして、目標先行型の改革になってしまう懸念がある。また、同時に用いられるべき ELP(言語ポートフォリオ)については注目が低く、自律学習の視点が不在となりがちである。Can do 評価を授業に取り入れていく際の留意点と、その自律学習および動機づけ支援の道具としての利用方法を具体的な事例とともに議論したい。

講 師 長 沼 君 主 (東京外国語大学)

次頁に続く

15:00 ~ 15:30

### 「Can do からの英語授業改革」

大学の英語教育では、CEFR を適用することで到達目標が明確になり、成果を上げている。しかし、中学校と高校においては学習指導要領や検定教科書との共存が難しいという声も聞かれている。しかし、Can do の考え方をういて授業を組み立てることで、生徒の学習意欲を喚起し、コミュニケーション能力の育成を目指した授業が可能になる。今年度から CEFR をベースとしている NHK ラジオ「基礎英語」での Can do の活用例も取り入れながら話をすすめたい。

講 師 阿 野 幸 一 (文教大学)

15:40 ~ 17:10

### パネルディスカッション

Foresight 21 5 階 F501

#### 「外国語学習の到達目標を考える—CEFR: Can do ステートメントの適用—」

本日の講師お三方の講演を踏まえて、Can do ステートメント、行動中心、目標設定、自己評価、自律学習、共通参照レベル、言語ポートフォリオ、動機づけ、といったキーワードで議論を深めたい。

司 会	跡 部 智	(慶應義塾普通部)
パネリスト	高 田 智子	(明海大学)
	長 沼 君主	(東京外国語大学)
	阿 野 幸一	(文教大学)

17:10 ~ 17:15

### 閉会の挨拶

Foresight 21 5 階 F501

LET 関東支部副支部長 下 山 幸 成 (東洋学園大学)

